静岡県議会報告
年4回発行・平成21年5月18日発行

落合慎悟（おちあいしんご）県議

静岡県政に対するご意見
ご要望をお寄せください。

落合慎悟県議は県民の負託を受けて挑戦!! 21年度の県政改善テーマ

志太地域を主体として県政課題に取組む!!

2月23日（月）藤枝市民バス 7台 286人議会傍聴と新東名高速道路・富士山静岡空港視察

次回は12月の県議会に議会質問傍聴と県内視察会を開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

天野進吾県議から県の説明

工事中の新東名高速道路でJR中日本高速職員の現場説明

完成間近の富士山静岡空港ターミナルビル

落合慎悟県議による2月県議会一般質問と答弁要旨（2月23日10:30〜11:30）

1.静岡県の新公共経営について
業務棚卸表は業務コスト評価が無く、県民には分かりにくい。改善を求める。

総務部長
県民に行政サービスの内容やコストを分かりやすく説明できる情報を提供し、身近に感じられるよう努力する。

2.富士山静岡空港の安全対策について
鳥による衝突事故が日本でも年に1320件起きている。安全対策を伺う。

空港部長
国・警察・航空会社等で空港保安委員会を立上げ、保安対策を検討中。地元と消防救難応援体制協定締結協議する。

3.東名焼津吉田IC間の新設ICについて
地元町内に調査結果説明資料が配布されたが、調査状況と今後の予定を伺う。

建設部長
効果・構造等を3地区調査した。想定面積は3haを超える。今後、地元の意向を聞き、9月頃には場所を決定したい。

4.茶業振興に向けた新商品の開発について
茶販売量は変わらず単価だけが大幅に低下した。茶農家のため商品開発を望む。

県知事
県では急須無しのドリップ茶、粉末茶を開発している。今後、高い機能性を有する新世代茶飲料を開発していく。

5.中小零細企業対策について
中小零細企業支援対策をしなければ危機脱出できず雇用拡大にもつながらない。

県知事
県制度融資枠を2千億円に拡充と下請幹旋成約拡大のため専門調査員を6人に増員など中小企業を支援事業を実施する。

6.志太榛原地域の医療について
榛原病院・焼津市病院の医師引揚は志太榛原医療の危機だ。県の応援を求める。

厚生部長
志太榛原地域の救急医療体制など医療確保に、県も主導的な立場で参画し、医師会等と協議の場で検討していく。

7.肝炎治療特別促進事業について
日本にB型C型肝炎ウイルス感染者350万人いる。肝炎治療対策の強化を求める。

厚生部長
肝炎治療審査体制を改善し、翌月末には交付する。助成期間も1年から1年半に延長する。
さすが厚生部の対応は早い!

8.犬・猫の殺処分について
飼育放棄防止対策と平成29年までに19年実績9千頭の殺処分頭数半減対策について伺う。

厚生部長
飼主から引取の有料化など飼育放棄防止、野良猫の繁殖抑制、新飼主探し拡大、動物愛護団体との意見交換に努める。

9.消防救急広域化について
消防救急広域化で志太榛原地域が静岡市と統合指令化は反対。（各消防長の意見を代弁）

総務部長
県内3圏域の中部地域は市長の理解を得ている。
（この答弁には吃驚!各市長は各消防長・団長の意見を聞いて無い。）

10.小中学校のキャリア教育について
若者の勤労観・職業観の未成熟はキャリア教育に問題がある。

教育長
各中学校では職場体験実施率96%であり、事前・事後も指導している。（私は、昨年6月に秋田県教育委員会を視察したが、日本のフィンランドと評される「秋田県の学校教育の凄さ」を静岡県教育界の皆さん、是非視察して欲しい!）

2月県議会　建設委員会で落合慎悟県議の質問と答弁（質問17項目の一部）

「一社一村しずおか運動」にてアーモンドの木の植林

1.緊急豪雨対策事業で、土砂災害施設整備ついて、危険個所が多くある中でどのような個所について緊急的に整備を実施していくのか伺う。
答弁　孤立予測集落おける安全な場所確保や、避難所への避難経路を確保できる箇所を選定し、短期間で効果の見込める箇所を優先で行う。

2.国土交通省がゲリラ豪雨対策として「水災害予報センター」を全国8か所の地方整備局に設置し、4地区に新型レーダーを導入する。本県に配置は?
答弁　国の21年度予算関係資料で承知している。3大都市圏と金沢市周辺に高解像度のレーダーを設置する計画で名古屋圏では数基設置する。

3.公共工事のコスト削減について、構造改善プログラムについてのパブリックコメントを募集しているが、意見が寄せられたか伺う。
答弁　1月26日から2月25日まで1ヵ月間、県民意見提出手続きを行った。1件の意見が寄せられた。3月末までの次期計画策定に参考にする。

4.静岡市では、現場代理人の常駐義務の緩和を行い、小額工事で2件まで兼務できるとした。建設業者は厳しい経営状況にある。県の取り組みは?
答弁　全ての工事現場に常駐を義務付けているが、21年度から現場管理に支障のない一部の小額工事は、2工事まで兼務を認める試行を開始する。

5.太田川ダムの現在の湛水状況について、またダム堤体のひび割れの対応について、2月に実施した再調査の結果について伺う。
答弁　3月1日現在、水深44.7m、安全性は確保されている。ひび割れ補修は、新たに上流面で3か所、下流面で36か所あり、3月3日に完了予定。

6.明治製菓と藤枝市葉梨地区との「一社一村しずおか運動」認定は、非常に喜ばしいことだが、一社一村運動はどのような方法で募集しているのか?
答弁　平成17年度に県内外企業1千社にアンケートを実施し、百社から本運動に関心あり回答を得た。企業と農山村交流ツアーを実施している。

7.花粉発生源対策として、花粉の少ない杉に切換え植林の状況はどうか。富山県森林研究所では花粉のでない杉品種を大量生産した。本県の対応は?
答弁　花粉の少ない杉の種子採取は平成23年開始、25年から苗木を供給する。富山県は無花粉の杉を開発生産したが、本県では少ない杉を供給。

8.大井川新橋（県道島田吉田線）の事業認定申請後の状況と供用開始の見通し並びに何故もっと早く土地収用手続きを進められなかったのか?
答弁　昨年9月に国交省に申請を行った。事業について反対意見書と公聴会開催請求があり、2/1に公聴会を開催、事業認定は夏頃と考える。
収用委員会手続きは約8か月必要、明渡期間約6か月、道路整備に8か月程度必要で利用開始は平成23年の夏以降となる。23年度末の場合もある。
早く申請を行えば良かったが、円満解決への思いや地権者の思惑、国の対応などそれぞれの考え方、手続きが異なり、やむを得なかった。

太田川ダム堤体のひび割れ視察

街の賑わい　藤枝駅前商店街歩行者2年間で28.8%減少!!（駐車禁止規制緩和の越前市は27%も増加）

藤枝駅北口商店街通りの駐車禁止時間帯解除に取組む駅前振興組合は、地元自治会や商工会議所、市役所、県土木事務所、警察署と協議を重ねている。昨年暮れに駅前地区自治会を中心に署名活動を行い県議、市議を含む5,300人から署名を頂いた。県警察本部から現地調査も行われました。10年20年先の高齢化社会を考え、駅前地区の活性化を実現!前例の無いことは大変ですが、商店街の皆さんは頑張っています。

駅前振興組合で専門委員会を組織

藤枝警察署交通課長から説明

藤枝駅北口商店街の駐車規制緩和検討地域

藤枝駅北口商店街

越前商店街は駐車規制解除

藤枝駅南口にBiVIオープン

茶業に活力を　10年間に茶の販売量変わらず単価が40%も低下!!　更に生産コスト高で茶生産農家が悲鳴!!
今年は茶生産農家のため、お茶の勉強と新商品開発や販路・販売拡大に取り組んでいます。

4/18 新茶初取引 低価格に不安が

緑茶は昨年も1年間で10%価格が下落した。大変な苦境に立たされて茶農家も廃業寸前です。岡部地区では旨味のある玉露や被せ茶を多く生産していますが高級茶も需要が大幅減です。需要拡大は喫緊の課題。販路の見直が必要!!今こそ手を打たないと大変なことになります。藤枝茶を使った商品開発や販路拡大に市民の皆さんのアイデアを頂きたいと思います。

朝比奈地区の被せ茶の風景

5/1に刈取った新茶を粗揉機に

製茶工場が開発した『噛んで食べるお茶』

玉露の里で玉露茶をポン酢で食べる「美味い」酒の肴にもOK

放置竹林対策　放置竹林の急増は山間地の悩み!!　竹は大いに使える!!　竹粉を活用しよう!!

中山間地には竹林が拡大中

キャタピラ式粉砕機で竹粉に、竹肥料製造

森の力資金年間約8億4千万円（県民税1人400円）を放置竹林対策に活用し、山を緑豊かな森林に。
粉砕機も大型でないと危険であり、捗らない。解決には行政と山里住民の協働作業が必要です。竹粉肥料で米・野菜・果物は促成し甘味が増す。竹粉を飼料に混ぜると肉質が良く、糞臭も減少。竹粉の活用を竹の専門家と研究していきます。

志太榛原の医療　榛原病院と焼津市立病院の医師が大量退職!! 患者が藤枝に移動で医師の負担急増!!

志太榛原看護協会が実状説明

榛原病院は循環器と内科系医師の退職、不良債務過多で公立病院として存続の危機に直面している。
焼津市立総合病院は内科系医師の引揚など大幅に医師退職で手術対応や入院患者対応の危機にある。
島田市立市民病院は医師の確保は順調で問題が少ない。救急車全受入実施中。病院改築計画もあり我が道を行く姿勢。
藤枝市立総合病院は榛原や焼津からの患者増加やコンビニ受診で医師の負担が増加、大きな懸念。
藤枝市は経営難の市立総合病院に21年度も会計から18億円繰出!（現在建築中の焼津市豊田小学校改築金額とほぼ同額）

志太中央幹線　志太中央幹線はなぜ進まないのか?　（都市計画道路は市が工事を行うのが原則）

志太中央幹線の大井川新橋付近（旧大井川町部分開通）

志太平野の中央を南北に走る道路として昭和48年都市計画決定。葉梨・国一号間は県道藤枝伊久美線の付替えとして県が施工しているが、現在、左車地区の反対で中断している。国一号以南は以前、県から大富藤枝線の付替えを提案されたこともあったが、市は受けなかった。11年前の私が市議の時代、藤枝市は県道藤枝伊久美線の付替えとして県と協議し、平成10,11年度に焼津街道から国1号まで市費3千万円で道路設計や瀬戸川のボーリング調査まで行なった。しかし、12年に計画は無くなった。このことは志太地域にとって大きな損失であった。現在、県が大井川新橋を島田吉田線の髭（志太中央幹線連結）として工事を進行、藤枝市も南から田沼街道まで工事着手し、2年後の完成をめどにしている。

志太の道路

土木事務所で地元市議・自治会の皆さんと工事説明

善左衛門交差点の墓地

地権者が通行者へのお詫びと説明の看板を掲示しました。

地権者と交渉は継続中です。

用地収用の難しさと事業認定
道路用地になる土地を買収する時に地権者との交渉が難航した場合、その土地を収用するには、道路の事業認定を国から得なければ収用法を適用できない。
事業認定は容易に許可されない。
大井川新橋の南側の件も2年も掛っている。
収用手続は更に掛る。

東名高速道 吉田焼津間スマートIC新設

IC設置の法律改正でスマートICは国の費用負担で行われる。2月末に東名沿線関係町内会に説明資料が配布された。
地元の意見を整理、検討。候補地を早期に決定して国に申請する。認可されれば、来年度より用地買収に入る。早ければ24年度完成。

A地区　藤枝駅吉永線

2車線6.0m整備済み
家屋は比較的少ない
交通混雑発生は至らない
大井川バス停は一体化

B地区　藤枝大井川線

2車線6.0m整備済み
家屋が密集している
交通量増加で混雑発生
大井川バス停は一体化

C地区　高洲和田線

2車線分の増員がない
家屋は比較的少ない
交通量増加で混雑発生
大井川バス停は現在位置